

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
E111C013		生活(小) (Life Environmental Study (elementary school))							対面							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
必修	1	1	教育学部 令和2年度 以降入学生用		火3	日本語		オムニバス								
担当教員	氏名 麻生 良太, 川田 菜穂子, 永野 昌博, 渡邊 大貴 E-mail ryoaso@oita-u.ac.jp 内線 7584															
授業の概要	小学校「生活科」の教科目標を社会認識、自然認識、自己認識の観点からとらえ、生活科の授業において基礎となる各領域の専門的知識、技術などを実地に体験・考察する。教室内の講義だけでなく、作品制作、実習等により、生活科の基礎基本の意味やあり方についても検討する。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1	生活科のねらいを説明することができる。															
目標2	生活科の授業に必要なさまざまな分野の基礎的な知識を習得する。															
目標3	生活科の授業で必要となる教材研究の手法がわかる。															
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
各DPへの関連度(計10)							8	2								
授業の内容																
1	「生活科」の内容および目標：授業の進め方、学習指導要領が示す教科の到達目標、学習内容について(担当：麻生)															
2	「生活科」の指導内容：自然認識領域の教材について - 自然の中での活動 - (担当：永野)															
3	「生活科」の指導内容：自然認識領域の教材について - 生物との関わり - (担当：永野)															
4	「生活科」の指導内容：社会認識領域の教材について - 家庭と生活 - (担当：川田)															
5	「生活科」の指導内容：社会認識領域の教材について - 身の回りの環境と安全 - (担当：渡邊)															
6	「生活科」の指導内容：自己認識領域の教材について - 自己の成長の自覚 - (担当：麻生)															
7	「生活科」の指導内容：自己認識領域の教材について - 幼児期における体験と幼保小連携 - (担当：麻生)															
8	総括(担当：麻生)															
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
ラーニング	A:知識の定着・確認	小課題や課題に関する小グループのディスカッションを実施し、課題意識を高め、多角的多面的に視野をひろげる。				工夫	各領域とも、生活科の内容や目標に照らした課題や活動を講義内で行うことにより、教育者としての視点だけでなく、学び手である児童の視点から生活科を考えるような工夫を行っている。									
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	課題や活動における事前の調査等を時間外に行う(15h)。														
	事後学修	講義や課題、活動の振り返りを行う(8h)														
	想定時間合計	23														
教科書	文部科学省『小学校学習指導要領解説生活編』東洋館出版社、2018年 ISBN:978-4-491-03464-5															
参考書	文部科学省『小学校学習指導要領』東洋館出版社、2018年 ISBN:978-4-491-03460-7															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		各担当教員から出される課題	30%									
	各担当教員から出される提出物	70%										
	課題等は講義内に行い、提出することがある。また、各領域および各担当教員で提出物を課す。											
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	渡邊大貴(小学校教諭)											
実務経験を いかした教 育内容	実務経験をいかし、生活科の理論とそれを踏まえた教育実践についての教育を行う。											